

日本の伝統文化

ふろしきを暮らしに

ふろしきの歴史

風呂敷はものを包む一枚の四角い布。シンプルな布だからこそ奥が深く長く伝わっているのではないでしょうか。

ものを包む布という意味での風呂敷の始まりは、奈良時代頃だと思われまふ。奈良の正倉院には宝物を包む布が現在も残されています。

また、平安時代頃には布で衣装を包み、頭上に載せて運んでいたようです。このように、ものを包む布を、

昔は「平包（ひらづつみ・ひらつつみ）」と呼んでいました。

一方、「風呂敷」という名前の始まりは室町時代といわれています。

当時の風呂敷とは、白衣を着て入る蒸気浴のことで、將軍足利義満が公家・大名を一緒に風呂に入れたところ、大名達は脱いだ衣服を取り違えないように家の紋を入れた布に包み、風呂から上つてからはこの布の上で身づくろいをした、という記録

が残っています。

つまり「風呂敷」という名は当初は「敷物」をさしていて、ものを包む「平包」とは別のものでした。

これが江戸中期頃になると、風呂敷も「敷物」としてよりも、主に「包みもの」として使われるようになりました。すると、「平包」と「風呂敷」の区別がなくなっていく、呼び名は徐々に風呂敷に統一されていったと考えられます。

最近では、エコロジーへの関心から風呂敷が注目され、レジ袋の代わりに「風呂敷バッグ」を作ったり、「ラッピングクロス」つまり包装紙の代わりにしたり、という使い方も出てきました。

時代に合わせて呼び名も用途も変化している風呂敷を、気軽に使ってみてはいかがでしょうか。

ふろしきの基本

大きさ

風呂敷の大きさは、実はいろいろあります。一般的によく見かけるのが次の4つですが他にもいろいろなサイズがあります。

呼び名	大きさ	主な用途
中幅	約45cm角	お弁当包みや小さなバッグに使いやすい大きさです。
二幅	約68cm角	最もよく見かける普通のサイズです。箱ものを包むのに便利です。
二四幅	約90cm角	もともとは大きな荷物や毛布などを包んでいました。風呂敷バッグを作る場合はこのくらいの大きさがあるとたっぶり入ります。
三幅	約105cm角	



素材

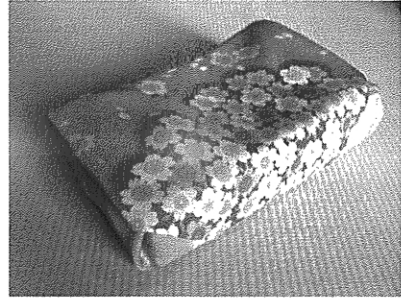
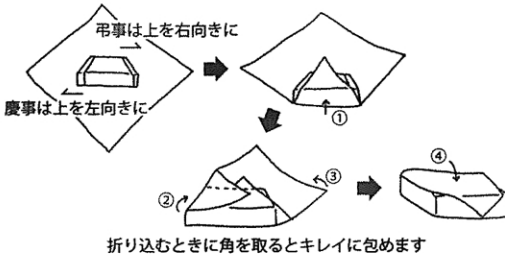
風呂敷の素材は、主に次の4つがあります。素材によってはお手入れ方法が違いますので、注意が必要です。

素材	特徴	お手入れ
絹	高級品で独特の風合いがあります	家庭では洗濯できません
綿	多用途に使いやすいです。大判のものもよく見かけるのでバッグを作ったりできます。	洗濯機で洗えます。ただシワになりやすいのでアイロンがけをしてください。
ポリエステル	絹に近い風合いと、手頃な値段が特徴です。ラッピングに使用し、そのまま差上げることができます。	手洗いで洗濯できます。アイロンがけは低温で。
レーヨン		洗濯はドライクリーニングのみです。

基本の包み方

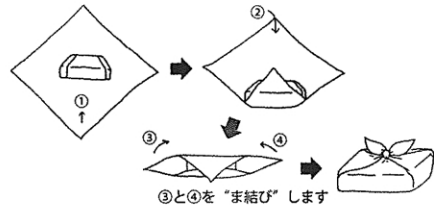
平包み

年始のあいさつの品などを包んで訪ねると、優雅な印象です。結ばないので、風呂敷を傷めません。慶事（お祝い）と弔事（おくやみ）で包む形が異なります。



お使い包み

最も一般的な包み方の1つです。結び目が横になるようにする「ま結び」がポイントです。

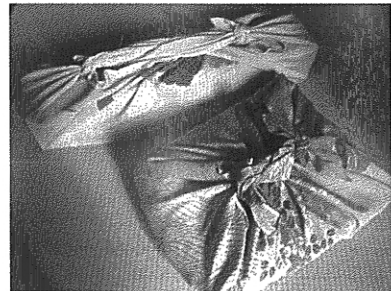
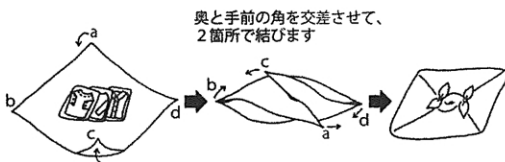


“ま結び”の手順



ひっかけ包み

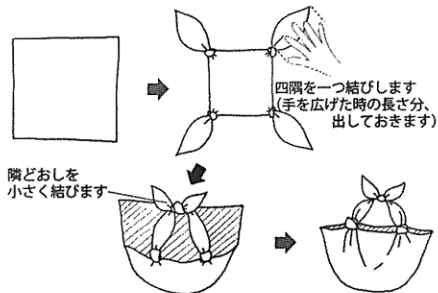
やや大きめのものや細長いもの、箱に入っていない荷物などもしっかりと包めます。ほどけにくいので、レジ袋の代わりに使って、エコロジー！



バッグを作る

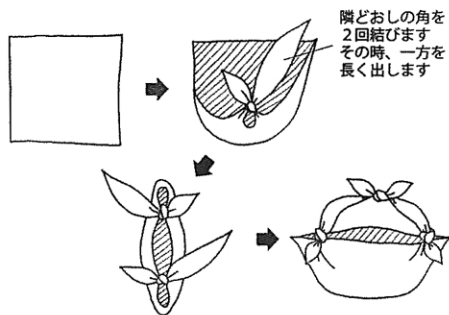
トートバッグ

風呂敷一枚で、たっぷり入ります。旅行先に風呂敷を持って行けば、帰りにはおみやげ物などを入れて持ち運べます。



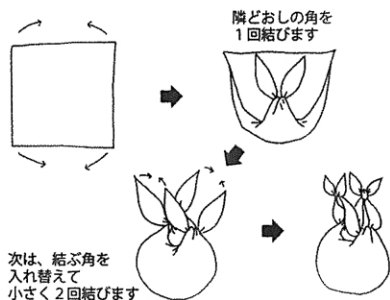
ショルダーバッグ

持ち手が長く、肩からかけて使えるバッグです。なるべく大判の風呂敷(三幅以上がおすすめ)をお使い下さい。



巾着バッグ

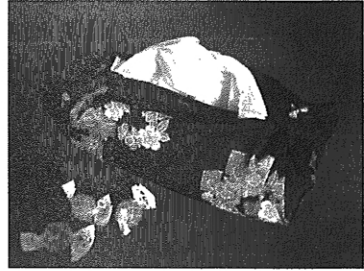
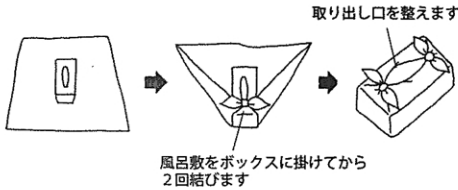
口が閉まるので、中身が見えません。サッカーボールやスイカなど丸いものが入れやすいバッグです。



インテリアに使う

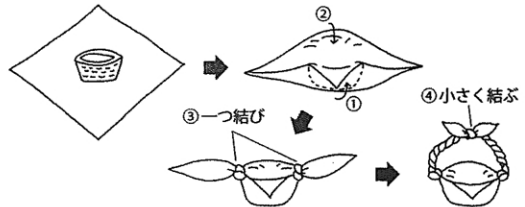
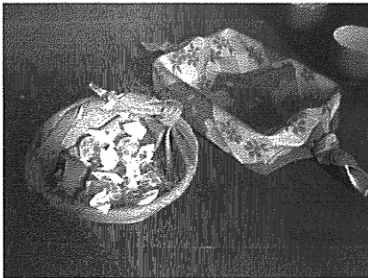
ティッシュカバー

いろいろな高さのボックスでも、1枚で対応できます。ほどけば簡単に洗えて便利です。



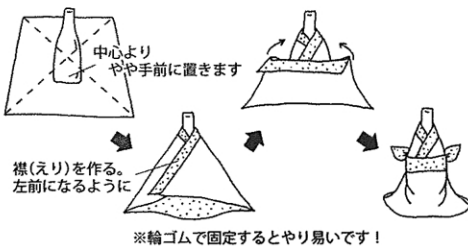
小物入れ

空き箱がおしゃれな小物入れになります。空き箱は角型でも丸型でもどちらでも大丈夫。結ぶ目が大きく余ったら、持ち手を作ってバスケット風に。



人形包み (おひなさま)

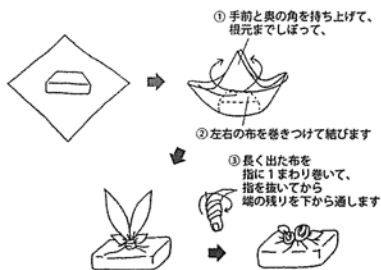
空き瓶に風呂敷の着物を着せてみましょう。二体作れば、ひな飾りになります。



他に、大判の風呂敷をそのまま使って、テーブルクロスやパソコンカバーにしても、おしゃれです。

ラッピングする

バラ包み



花のような結び目を作って、華やかな印象に。



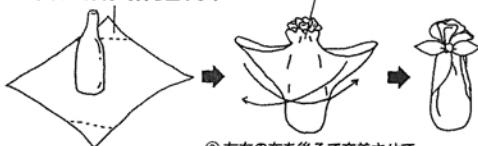
ボトル包み

ワインやシャンパンを豪華に包んでプレゼントに。また、空き瓶を包んで、花瓶にしたり、お部屋のアクセントにしたりもできます。



① 角を少し折り込んで、ヒダを作ってボトルの口まで持ち上げます

※ヒダを洗濯バサミと輪ゴムで留めておくことやり易いです！



② 左右の布を後ろで交差させて、前で結びます

リンゴ包み

お菓子や小物類をかわいく包んで、そのまま贈りものにできます。

